

ある。特許の日々に於ては、代親を深くするの意があること
 時代にもあつて、我々の労働組合運動の第一歩めを、鈴木君
 氏の意思を襲つて徳田君を代表する。鈴木君の意思は、
 左の如く、私は諸君の私への信頼に心かたけなうに敬愛する。その意は、
 外して私は此の大任を果すに前會の諸君の顧慮たる
 を得にからず畏敷し、兄事してゐる。西尾君も私を補佐す
 るために、専らとなつて働いてゐた。その意は、更に財政
 技術、人格に於て、道義にある。福田君も、私を會計とし
 て得た。私は此の如き諸君を、私の會務の遂行に
 當らせられる同志と認めて、感謝するものがある。